

菅原道真の生涯年表

学問の神様・天神様になるまでの物語



▶ 誕生・成長期

845年（承和12年）

菅原道真、誕生

京都に菅原是善の三男として生まれる。幼少期から和歌の才能を発揮し、5歳で和歌を詠んだと伝わる。

862年（貞観4年）・18歳

文章生に合格

難関の文章生試験に合格。学者・官僚への道を歩み始める。

877年（元慶元年）・33歳

文章博士に就任

最高学府の教授職にあたる文章博士に就任。学者として最高峰の地位を得る。

▶ 栄華期

886年（仁和2年）・42歳

讃岐国司に任命

四国・讃岐の国司として赴任。現地の民政に尽力し民衆から慕われる。

899年（昌泰2年）・55歳

右大臣に就任

貴族社会のトップである右大臣に異例の大出世。藤原氏以外での就任は極めて稀だった。

▶ 左遷・流謫期

901年（昌泰4年）・57歳

大宰府へ左遷

藤原時平の讒言により、突如大宰府へ左遷される。都を離れる際「東風吹かば...」の歌を詠む。

903年（延喜3年）・59歳

大宰府にて薨去

失意のまま大宰府の地で生涯を閉じる。最後まで都への帰還を願い、学問を続けたと伝わる。

▶ 神格化・天神様へ

903年以降

怨霊として恐れられる

道真の死後、京都で天変地異・疫病が続発。道真の祟りと恐れられ、御霊信仰が広まる。

919年（延喜19年）

太宰府天満宮、創建

道真の墓所に社殿が建立される。怨霊を鎮めるための祀りが始まる。

947年（天曆元年）

北野天満宮、創建

京都に北野天満宮が建立。怨霊から「学問・文芸の神様」天神様へと神格化が完成する。